茨城県茨城町

1. 本地域の紹介

本地域の環境	農村、漁村	「子供の農山漁村体験交流計画」の有無	無
アクセス	□車の場合：北関東自動車道・水戸南ICから約10分 □電車の場合：JR東京駅～JR水戸駅　特急で約80分、水戸駅からタクシーで約20分		
本地域の概況	□茨城町は、茨城県のほぼ中央部に位置する人口約32、000人の田園都市です。 □活動地域である広浦地区には、汽水湖の涸沼（ひぬま）があり、ラムサール条約に登録されています。 □涸沼は、非常に豊かな生態系を有しており、多くの動植物が生育・生息しています。 □基幹産業は、農畜産業ですが、涸沼では漁業も営まれています。 □農家民泊と農漁業、伝統芸能、工芸等の体験が行われていますが、目玉は、涸沼での伝統漁業体験です。 □小中学生、大学生、成人、インバウンド等、幅広い受入を行っています。		

2. 令和元年度における「子供農山漁村体験交流」の受入実績

①学校教育による受入校数						②社会教育による受入件数	③自治体連携による交流先
小学校	0校	中学校	0校	高等学校	0校	16件	無

※③：2つの自治体間で「子供農山漁村体験交流に取り組むこと」を合意し、「送り手側と受入側の役割」を分担して実施した取組

3. 本地域で提供できる体験・交流メニューの紹介

メニュー1：伝統漁業体験（長袋、つくし漁、笹漁、竹筒漁、刺し網漁、しじみ漁の体験や見学）

体験の分類	漁業 ・ 自然環境 ・ 食		
実施概要	船に乗って涸沼の漁場に向かい、前日から仕掛けてある仕掛けや網を揚げて、希望があれば（有料の場合あり）、採った魚を調理して食べる体験		
対象学年	小学生低学年 ・ 小学生高学年 ・ 中学生 ・ 高校生		
実施環境	屋外（雨天中止）	時期	魚種によって禁漁期間が異なるため、要相談。おすすめは、4月～10月頃
所要時間	1時間～2時間	最大受入可能人数（人）	45人
最低価格	1、500円～2、500円（税込）/1名　ローテーションで実施すれば、200名程度受入可能		

メニュー2：筏乗り体験

体験の分類	交流 ・ スポーツ・レジャー		
実施概要	涸沼に筏で出港し、遊覧（船頭、救命胴衣等は全てひろうら田舎暮らし体験推進協議会で用意）を行う体験		
対象学年	小学生低学年 ・ 小学生高学年 ・ 中学生 ・ 高校生		
実施環境	屋外（雨天中止）	時期	要相談だが、おすすめは4月～10月頃
所要時間	1時間	最大受入可能人数（人）	40人
最低価格	1、000円（税込）/1名		

メニュー3：伝統郷土料理（花巻寿司）

体験の分類	食 ・ 交流		
実施概要	地元のお母さん方と一緒に、地域伝統の郷土料理である花巻寿司を作って、食する体験		
対象学年	小学生低学年 ・ 小学生高学年 ・ 中学生 ・ 高校生		
実施環境	屋内	時期	通年できるが、おすすめは、4～10月頃
所要時間	1時間30分	最大受入可能人数（人）	40人
最低価格	1、500円（税込）/1名		

その他の交流・体験のメニューの紹介

屋外で実施するメニュー	米作り、各種野菜の育成、ブルーベリー摘み、涸沼遊覧、模擬祭り、バーベキュー等
屋内で実施するメニュー	味噌づくり、郷土料理（花巻寿司）、組子細工づくり、マイ箸づくり、和太鼓演奏・ワークショップ、浴衣着付け
屋内・屋外で双方で実施できるメニュー	農家民泊受入家庭での各種交流
体験・交流メニューの紹介サイトのURL	http://hiroura.jp/
モデルプランの紹介サイトのURL	http://hiroura.jp/

4. 本地域における「子供農山漁村体験交流」の受入体制

（1）受入対象

教育種別	学校教育 ・ 社会教育	学年別	小学生低学年 ・ 小学校高学年 ・ 中学生 ・ 高校生

（2）受入可能な期間

日帰り	可	1泊2日	可	2泊3日	可	3泊4日	可	4泊5日以上	要相談

（3）手配できる交流先の候補

受入時のスタッフ	可	ホームステイ先	可	地域内の小学校	可	地域内の中学校	可
地域内の高等学校	可	その他	農漁業者、伝統芸能、工芸、料理作成等の指導者				

（4）1回当たりの宿泊定員（人）

ホームステイ（受入家庭先への分泊）	本地域のみで受け入れる場合　70人
集団宿泊	0人
キャンプ場・コテージ等	0人

（5）安全面と事前交流・事後交流の対応

①「地域内での緊急連絡体制（医療機関、消防署、警察、行政等）」の整備	整備済
②「本地域・近隣地域にある24時間診療可能な医療機関との連携体制」の整備	整備済
③「受入関係者向けの安全管理基準（ガイドライン、マニュアル等）」の策定	整備済
④「感染症拡大予防ガイドライン・マニュアル等」の策定	未整備
⑤「アレルギー・障がい等を抱える子供への配慮」の対応	要相談
⑥受入窓口による「体験・交流中の傷病・事故・災害等発生時の連絡・調整」の対応	可
⑦「対面・オンラインによる地域人材との事前・事後交流、講義等」の実施	要相談

5. 本地域での「子供農山漁村体験交流」に係るお問い合わせ先

子供農山漁村体験交流の受入窓口	ひろうら田舎暮らし体験推進協議会		部署名	事務局
	団体構成	地元の地区、農漁業者、伝統芸能団体、伝統工芸団体、伝統食伝承団体等		
	TEL	090－9646－9775（事務局担当者直通）	E－MAIL	info@hiroura.jp
	住所	〒311－　3125　茨城県東茨城郡茨城町大字下石崎1560番地16		
	URL	http://hiroura.jp/		
自治体の担当部署	部署名	生活経済部　農業政策課	E－MAIL	nousei2@town.ibaraki.lg.jp
	TEL	029－240－7118（直）	URL	